

特集 “子ども達の夢”まもなく現実に!!

～日吉津 水辺の楽校～

日吉津村で整備が進められている“日吉津 水辺の楽校”について、当初からこのプロジェクトに関わっていらっしゃる日野川環境整備計画策定委員の木村 薫代さんと日吉津村役場の山西建設産業課長さんにお話を伺いました

「昔、よく日野川で泳いだよね」

平成12年9月、議員の方々の中からこんな声が聞こえてきました。「当時、日野川で魚をとったり泳いだりした思い出は今でも鮮明に覚えている。しかし今では、日野川の水辺で遊ぶ子ども達の姿をまったく見ることがなくなった事をとて寂しく思う・・・」これが当時を知る方々の共通の意見でした。

「あの頃の日野川を復活させたい」

そんな、熱き想いを抱いた方々を中心に幅広い年齢層で「日野川環境整備計画策定委員会」が発足。委員は私達の他に日吉津小学校の校長先生をはじめ、スポーツ少年団(野球・サッカー)の主将である子ども達も含まれています。その委員会の中で、まず「今の子ども達が、日野川の整備についてどのような考え方を持っているのか」を知るために、日吉津小学校の4年生から6年生を対象に意見・絵を募集したところ、ほとんどの児童さんから応募がありました。そこには、「中州に橋をかけてアスレチックをつくる」「野鳥・昆虫公園をつくる」「チューリップの形をしたプールをつくる」など、子ども達の“素直な気持ち”がたくさん描かれていました。

「水辺の楽校プロジェクトが本格的にスタート」

日野川環境整備計画には子ども達の「遊具、広場、自然がたくさんあって、ホタルが舞い、魚や動物が生息する日野川・・・」といった意見を反映させた①レジャーエリア②野鳥エリア③防災エリア④スポーツエリア⑤水辺エリア⑥並木ベルトがあり、「水辺の楽校」を⑤水辺エリアと位置づけ、子ども達の夢の現実にに向けたプロジェクトが本格的にスタートしました。



4年生



5年生



6年生

当時、絵を描いた日吉津の小学生たちは、今では中学生と高校生です。まさか自分が描いた絵が現実になっていくとは思ってなかった事でしょう。完成したら是非ここに来て、当時の空想を思い出して欲しいものです。



計画当初のイメージ図



ホタルの幼虫について、興味津津の生徒たち

「ホタルが舞う日野川に・・・」

いつの日か、日野川にホタルが舞うようにと日吉津村役場で育てていたホタル幼虫約400匹の「ホタル幼虫引継式」が昨年11月17日に日吉津小学校で行われました。引継を受けた日吉津小学校の科学クラブの皆さんは、当日「鳥取ホタルを飛ばす会」の澤田技術指導員さんからホタルの生態と飼育の仕方についての講義を受けました。

また、役場では日野川への放流に向け、ホタルの適応できる水質や餌の研究も着々と進められています。



完成イメージ図

「まもなく完成」

子ども達の意見を取り入れた「水辺の楽校」の整備が着々と進んでいます。完成したら是非遊びに来て下さい。

(平成18年度、完成予定)



水辺の楽校位置図



現在、完成に向けて着々と工事がすすんでいます。(上流から見た現在のようす)